

市長から

10月12日から13日に東海地方から関東地方に上陸した台風19号、また25日から26日にかけて東日本沿岸に接近した台風21号の影響により、関東、甲信、東北地方を中心に記録的な豪雨となりました。

これにより、多くの河川が決壊・氾濫し、広範囲にわたる甚大な被害が発生し、多くの方がその犠牲となりました。この災害により、亡くなられた方にお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々には、心からお見舞いを申し上げます。

市では、10月21日、今回の豪雨により大きな被害を受けた福島県郡山市の避難所に段ボールベッド50組を届けまし

た。郡山市とは東日本大震災を機に職員の防災研修などで交流があったため早期の支援が実現したもので、高齢の避難者の方からは、「避難生活が緩和できる」と感謝の言葉をいただきました。

今回の台風19号などによる災害は、ハード面の対応には限界があり、減災には的確な避難情報の提供と迅速な避難



本市から被災地へ段ボールベッドを提供しました

あるということを変更して認識することとなりました。今後は風水害による避難所の開設や、的確な避難情報伝達による迅速な避難誘導について見直しを進めていくこととしています。

風水害を想定した 総合防災訓練の実施

9月8日、長船中学校において、風水害を想定した総合防災訓練を実施しました。

訓練当日は、ボランティアとして長船中学校や邑久高等学校の生徒をはじめ、自衛隊、市消防団、せとうち防災リーダーなど訓練関係機関から約240人、一般の方が約330人参加されました。

また、今回は障がいのある方々も参加され、避難や避難所生活を体験していただきま



約570人の市民らが参加した総合防災訓練

した。参加者からは、「障がいのある人も地域で生活しているということをも、地域の人に知ってもらえるいい機会になった」という意見をいただきました。

地域の消防団や防災リーダーと子どもや要配慮者がつながることで、さらなる地域防災力の向上が期待できます。今後も、防災訓練や自主防災組織研修、防災リーダー研修を通じ、自助、共助の意

識啓発に努めるとともに、職員の防災研修を行うことで、公助の強化にも努めていきたいと考えています。

市営バスの新路線導入

今年11月から新たに導入することとしていた「大富・邑久駅線（南）・（北）」の2路線および「長船北線」の計3路線は、車両の納車などの遅れにより、令和2年1月から運行する予定としています。

現在、3路線沿線の自治会への説明会を終え、最終的な停留所の位置の決定や各種届出の準備などを進めています。この新路線の導入により、市内の公共交通不便地域にお住まいの方の割合は、今年度当初の20・7％から約7％にまで改善される見込みです。

高齢者の外出機会の増加に

えています。

また、児童や生徒が発表や職業体験の場として地域へ出て、活動することで子どもたちの活動を保護者や地域へ発信する取り組みも継続していきたいと考えています。

瀬戸内市文化祭・

備前長船菊花展の開催

10月・11月に中央・牛窓町・長船町公民館の3会場で、公民館で生涯学習活動・文化芸術活動を行っている個人・グループの方々による学習や文化活動の成果の展示や発表が行われました。

また、県下最大規模を誇る菊花展として、第33回備前長船菊花展を10月20日から11月17日まで開催しました。

会場には、市内外の菊づくり講座受講者や愛好家87人による158点、777鉢余りの瀬戸内市の市花である菊が見事に咲き誇りました。11月5日からは夜間のライトアップを行い、夜の幻想美もご覧いただきました。

教育長から

山鳥毛の特別陳列



約800年ぶりの里帰りを果たした山鳥毛

今年度も、既に11月15日から狩猟期に入っています。が、これまでに捕獲した狩猟期外の期間における頭数について、当初の見込み数である400頭を大きく上回る実績となっています。

また、野生動物の生態や適切な被害対策方法を学ぶことができる機会として、11月から12月にかけて、市内3カ所で「獣害対策セミナー」を開催しており、来年2月には、集落ぐるみで行う総合的な対策セミナーも開催する予定としています。

引き続き、広く周知をしながら、関係者一丸となって対策を推進していきます。



防護柵は、重ねて設置することで隙間をなくすることが獣害被害防止のポイント

博物館では、9月14日から10月27日まで、秋季特別展として「一文字と長船」を開催し、この特別展期間中の10月8日から14日まで国宝「太刀無銘一文字（山鳥毛）」の特別陳列を行いました。

山鳥毛の特別陳列では、多くの子どもたちや市民の方々が鑑賞され、7日間で5,500人を超える来館者があり、連休には入館制限が必要となる程の盛況となりました。

なお、特別展全体では、

岡山県では、学校、家庭、地域社会が一体となって「地域の子どもは地域で育てる」という機運を盛り上げるため、毎年11月1日から7日までを「おかやま教育週間」としています。

本市では、各学校園の実情に合わせて、10月1日から11月30日までの期間に、教育週間の活動として授業だけでなく、地域や保護者とのふれあい活動など、工夫を凝らした学校公開を行っています。

学校公開は、各学校園の発表の場や地域の方々とのふれあいの場ともなっていることから、学校、家庭、地域社会が一体となって子どもたちを育てていける大切な機会と捉